

9月25日 「多古光湿原保全会」主催の観察会

北海道、本州、四国、九州に産地は分布し、山地の湿った草地や湿原などに自生しているサワギキョウは、茎の高さは100cmから180cmにも昇り、枝分かればせず、この湿原のような低地での生育は少ないようです。8月から9月頃が花の見頃で、濃紫色の花が下から順に咲き出します。美しい姿をしていますが、アルカロイド成分を含み有毒植物でもあります。

世界に誇れる貴重な植物の宝庫は、多古町と横芝光町の境界で、栗山川と借当川が合流するところにあり「多古光湿原」と呼ばれています。

今回のサワギキョウは、千葉県最重要生物に指定されて絶滅が危惧されますが、横芝光町側だけに群生が確認でき県内最大の規模です。



サワギキョウ（沢桔梗）

キキョウ目 キキョウ科

編集後記

いつも 議会だよりをお読みいただきありがとうございます。

2016ブラジル「リオデジャネイロオリンピック」、パラリンピックも日本勢の活躍等で盛り上がり終了致しました。2020東京大会につなぐ素晴らしい結果で、4年後が楽しみです。

横芝光町も本年3月、合併10周年を迎え旧両町の一体感も感じられるようになったのではないのでしょうか。議会も重要な9月決算議会も無事終了し、研修等行事の多忙な時期に入りました。今後は、現在はもちろん、次世代のためにも議論を重ねてまいります。町民の皆様にも、協働のまちづくりにご協力賜りますようお願いいたします。

広報委員一同